


福島県PTA連合会会報
第35号_H05.02.27



福島市黒岩字田部屋53-5
 福島県青少年会館内
 福島県PTA連合会
 電話 (0245) 45-5982
 発行人 櫻井和朋
 印刷 泉孔版印刷所
 電話 57-1071



県連P会長 櫻井和朋

この一年を省みて

平成四年度は、第二十四回東北PTA研究大会が、第四十一回福島県PTA研究大会と合せて、九月四日、五日の両日、福島市飯坂温泉で開催されました。県下のPTA会員、また東北各地より二千七百余名の参加を得て、「心豊かな子供の育成を目指すPTA活動の推進」を大会主題とし、活発な研究協議が行われました。記念講演は、地方の時代の第一人者ともいえるべき、静岡県掛川市長榛村純一氏にお願いいたしました所、期待にたがわず、地方に生きる我々に力強いエールを送って

いただき、大変に好評でした。この大会の裏方として働いた、福島市P連の方々に対して深く感謝いたします。さて、本年度は、もう一つ教育界に大きな出来事がありました。九月より実施された「学校週五日制」です。前記の大会でも、特別分科会としてこの問題を取上げました所、七百人予定の分科会に千人以上の参加があり、目前に迫った「五日制」への関心の高さを裏付けました。第三の教育改革とまで言われたこの変革はPTAとしても、その

本質が問い直され、この機会にPTA活動のあり方について見直すべきかと存じます。文部大臣表彰をはじめ、各種表彰に輝いた、団体、個人の方々、本当におめでとございました。個人表彰の方々には、そのご尽力に感謝し、団体の方々には、今後とも活動の模範となり、さらに一層のご活躍をお祈りいたします。おわりに、微力な私を支え、励まして下さる、県P三役、理事、事務局の方々に衷心よりお礼申し上げ、会員各位の発展を祈念し筆をおきます。

輝く文部大臣・日本PTA

会長表彰受賞

《平成四年度》

平成四年度優良PTAおよび功労者表彰式が、日本PTA全国協議会の主催で十一月十八日(水)ホテルニューオータニ鶴西の間で盛大に挙行された。

○個人表彰

○ 國分 敏 夫 (前県P副会長)

○ 中 村 幸 吉 (前県P副会長)

○ 兼 子 美智子 (前県中南母親代表)

○ 平 山 恒 雄 (前県P副会長)

○ 加 藤 貞 夫 (前県P副会長)

○ 戸 田 満 夫 (前県P副会長)

○ 白河市立白河第二中学校PTA

○ 個人表彰

○ 國分 敏 夫 (前県P副会長)

○ 中 村 幸 吉 (前県P副会長)

○ 兼 子 美智子 (前県中南母親代表)

○ 平 山 恒 雄 (前県P副会長)

○ 加 藤 貞 夫 (前県P副会長)

○ 戸 田 満 夫 (前県P副会長)

平成四年度

ブロック研究大会

「人間性豊かな子供に」をテーマにして

日本PTAブロック研究大会は、九月から全国各地で開催された。各大会は、多数の熱心な会員を集め「PTAは今、何をなすべきか」を問う、充実した研究討議が行なわれた。

各ブロックの期日と会場は、次の通りである。

◇東北ブロック研究大会 九月四・五日 (福島)

◇北海道ブロック研究大会 九月十九・二十日(稚内)

◇関東ブロック研究大会 十月八・九日 (新潟)

◇近畿ブロック研究大会 十月十五・六日 (京都)

◇東海北陸ブロック研究大会 十二月二十九・三十日 (三重)

◇中国ブロック研究大会 十一月五・六日 (鳥取)

◇九州ブロック研究大会 十一月十三・四日(佐賀)

◇四国ブロック研究大会 十一月二十五・六日 (高知)



平成四年度優良PTAおよび功労者表彰式

《福島》 PTA組織を生かした 委員会活動

川俣町立川俣中PTA

川俣町は伊達郡の南に位置し、国道一一四号線（福島―浪江）国道三四九号線がそれぞれ東西、南北に走っております。また町の歴史は古く、縄文時代の遺跡が発見されております。江戸時代には、今も地場産業として良質な絹を生産する土地柄、産地であったために幕府直轄地となり、明治維新を経て現在に至っております。

本校は、昭和三三年よ



（PTA会員による 授業参観風景）

り山木屋地区を除く七校による統廃合により、昭和四八年に現在地に移り川俣中学校として発足し、創立二十周年を迎えました。今年度は生徒数七十七名（PTA会員六十九名）学級数二二、教職員四二名で運営されております。

PTAの組織は、教養委員会、設備委員会、校外指導委員会、厚生委員会、部活動委員会の各専門委員会と各学年による学年委員会とで組まれております。

最近の活動として、頭髮自由化への各委員会の取り組みをお知らせします。第一段階として学校より頭髮を自由にしたいとの申し出が常任委員会にあり、PTAとして種々の話し合いに入りました。教養委員会では会員にアンケートをお願いし、その集計の整理とPTA会報による特集記事としての結果報告（生徒会のア

ンケートも併記する）。また校外指導委員会は、生徒指導の先生と共に地元理髪業組合との中学生らしい髪型について度重なる話し合いを持ちました。第二段階として再び常任委員会と学校との話し合いの中で、各委員会の貴重な資料が合意の源となり、会員の意志統一に役立ち好スタートの要因でありました。現在のところ目立った長髪、染髪も見うけられない現状です。

最後に、新設された部活動委員会を紹介いたします。生徒の八割強が毎日部活に励んでおり、ますが援助活動を目的とする父兄会の充実を計るため、各部に会を設置していただき委員会をスタート致しました。各部門の共通した悩みや、施設の有効利用等が話し合われ、技術の向上競技力向上に一役、二役を果たしております。

特色あるPTA活動

《郡山》

地域に根をはる

PTA活動

郡山市立小原田小PTA

本校は郡山市の南部に位置し、西には国道四号線、東北本線、南には国道四十九号線、東には阿武隈川、東北新幹線等に囲まれており、子供達の事故等には、教師父母一体となり取り組んでおります。

本校の教育目標は「本気でやりぬく元気な子」であり、具体目標として、たくましい子ども、すすんで学習する子ども、思いやりのある子どもを目標にかかげ、子どもたちの自主性を重んじた教育を実践しております。

当PTAといたしまして、学校との連結を密にし、この目標に向い協力している所です。当PTAの組織をご紹介しますと、教養委員会、



（親子ともども楽しいバザー）

体育委員会は、学年対抗球技大会、親子スケート教室、校内マラソン大会のお手伝い等を行っております。学年委員会は、各学年行事を行い又奉仕作業の企画運営をしており、「親子奉仕作業」と名づけ親子一緒に学校の美化に協力いたしております。方部、補導は、各方部の行事、危険場所の点検等子ども安全確保の充実に努めております。

二年に一回行います青空バザーは、校庭に協賛品を並べ、その回りを売店が並びます。その売店は、先生方、役員の方々の献身的な奉仕の精神でまかなっております。

このように当PTAは地域の皆様と一体となり地域に根ざした活動を展開することにより、地域全体で子どもたちの健全育成を計っております。子どもたちの明るい未来を信じて……



《岩瀬》 親・子・先生との ふれ合いを大事に

鏡石町立鏡石小PTA

「ただ一面に立ちこめた牧場の朝の霧の海…」の歌で知られる牧場と田畑の広がる地に、本校があります。本校は、児童数二八五名、PTA会員数約二百名の中規模校です。子どもたちは四季おりおりの自然美の変化を奏でる緑豊かな環境のなかで、健やかに成長しています。

当PTAは、会員自らが研修に励み、自己の教育力を高めようと、学校及び地域の教育環境を会員全体の力でよりよく醸成し、明るく、楽しく、文化的で、安全な生活を實現するために、いろいろな事業を実施しています。その中からいくつかを紹介しましょう。

一つは、親と子、そして先生とが心を一つにして行動できるよう、「テニアップ運動」を推進していることです。「今より十分間テレビを消して話



(親子ふれあい活動)

の輪」を合言葉に、学校やPTAの諸会合では常にこのことを話題にし、PTA会報でも取り上げ、普及に努めています。この一環として、今年度は親子での話の輪を広げるため、教養委員会主催による講演会を開催しました。「梁川ざつと昔の会」より横山幸子先生を講師として迎え、親子と先生が一緒に郷土に伝わる昔話を聞きました。家庭に帰ってからも、祖父

母をふくめ家族の話題が広がっていききました。二つめは、PTA活動の活性化のため、学年PTA活動を重視していることです。どの学年でも親・子・先生とのふれ合い活動を実施しました。みんなで力いっぱい運動し、汗を流した後の会食は格別でした。低学年などでは、親の作った焼きそばを一口杯はおぼっている姿が見られ、ほほえましく思いました。高学年では、親子で協力しながら料理する姿が見られ、いっ

つになく和やかな雰囲気のもとに進められました。本PTAが家庭地域社会、学校の連携のもとに、「二十一世紀の主役」を育てるための一助となれるよう努力したいと思っています。

特色あるPTA活動

《田村》 父母と子で「字」^{あざ} 独自の活動

三春町立三春小PTA

本校は、田村郡の西部に位置し、三春駒の里・愛姫の里として名高い三春町の中心部舞鶴城の山ふところにあります。当PTAは、現在会員五二六名で「家庭と学校と社会における児童の幸福な成長を図る」ことを目的として、父母と教師が協力して活動してきております。

組織は、総会・評議委員会を中心に、三役会・専門委員会(五)・学年委員会(七)・字委員会(八)で構成されています。三役会では、評議委員会に諮る内容や、各専門委員会、学年委員会等の事業について、検討協議し、その持ち方の助言や支援を行います。教養、厚生、施設、広

報、補導の各専門委員会では、PTA一日入学・講演会・研修視察、PTA球技大会(第三二回)・ベルマークの整理、年三回の奉仕作業、広報「お城山」の発行(年三回と臨時発行二回)、三春盆踊りや祭礼、だるま市の補導等の事業を行っています。



(三春の民芸に親しむ)

学年委員会では、「お面の絵付け」「三春町めぐり」「オリエンテーリング」芋煮会、「親子旅行」等の親

子活動や学年のPTA行事を行っています。字委員会は、町内の八つの字ごとに組織されています。それぞれの字ごとに、独自の事業計画を立案し、字の子どもたちの健全育成を図るために地道な活動を展開しています。また字の行事には祭礼参加、奉仕活動、夏休みの親子旅行、廃品回収、夏休み勉強会、花火大会、肝だめし等があります。それぞれの字の親子がほとんど参加した活発な活動が展開されています。

昭和二十二年に発足した当PTAは、これらの積極的な活動が認められ「平成四年度全国優良PTA文部大臣表彰」を受賞しました。

歴代のPTA会長、役員、会員、教職員みんな喜びを分かち合い、この受賞を期にPTA活動充実のために一層の努力をしていきたいと考えています。

《両溜》 会員のやる気を引き出す 組織づくり

昭和町立昭小PTA

本校は奥会津の歳時記の村、また、からむし織りの里としてその技術を継承していることで知られている、人口二千二百余の山村にあります。

学校の創立は、昭和五十五年（村内の四校が統合したため）で新しく、十三年目です。

児童数百三名、会員数七十五名の小規模校です。（分校は独立のPTA）当PTAの組織づくりは、下部組織に地区PTAがあり、これを役員を選出母体として、割り当てられた役員の選出をします。（会長候補となる地区委員長四名、教養・厚生・補導の委員三十六名）この地区ごとの総会後、各セクション別に互選会を開き、会長、副会長、及び、専門委員会の正・副委員長を選びます。また、学年委員会は、三学期末の懇談会で決定します。そうして、PTA総会において承認決定をみ

るといふ運びになります。こうした手続きでスタートしますから、役員の人ひとり十分に納得と了解が得られ、子ども達のためならと、積極的且つ、意欲的に活動して頂け、会員に自分達のPTAという自覚とやる気を起こさせていると思えます。



（スキー大会でPTAでつくったトン汁を味わう）

児童数の少ないことが幸いして、僅かなスペースでもほぼ全員の言葉を載せることができるなどのメリットがあります。しかし、教養講座などでは小・中・分校の三PTAでつくる連合PTAの行事に組み入れるなどの方法も取り入れています。

中でも厚生委員会は、大きい事業の企画運営に携わります。親子が一緒に活動する場として「親子ガラス拭き」「親子も煮会」「収穫祭」などがあります。また、学校だけでは手不足な「スキー大会役員」なども引き受けます。

会員の奉仕的で前向きな姿勢は「ガラス拭き」や、雪降り前の「冬囲い」にほぼ全員出席してくださることでわかり、初めの組織づくりがよく影響していると思えます。

特色あるPTA活動

《いわき》 理念を持つて 積極的活動

植田町立植田中PTA

いわき地区の南部・勿来地区内のが校学区内には三つの小学校が在ります。従ってわが校は県下有数の大規模校であり近年になく少ない今年度でさえ一千名を越えています。学風は文武両道をモットーに、中体連や文化活動にその名を轟かしています。

さてPTAの組織活動は各校を大同小異と思えますが敢えて三つの活動を紹介します。広報紙即ちPTA新聞は教養委員会が担当しています。過去に於ける紙面は一般的なものでした。そこで委員会独自企画の紙面作りを目指すといたしました。教養委員

といたして基本理念を持つ



（会員の知識と意識の高揚を計る会報紙）

という多感な子を持つ親として、知り、考え、どう行動すべきかを訴える紙面がその特徴といえるでしょう。

次に厚生委員会が担当しての美術教室の開講があります。趣味の会ですが、それが学校で行うことに意義があります。親が学校で先生の指導のもとに学習することは子供への好影響の波及効果は多大と思います。将来、音楽や文学や英会話など開講出来ればPTAの活性化にも寄与出来ます。

最後に一昨年、地区内三小学校とわが校PTAが共同で、地区内全戸約六千五百戸へ、子供たちへの愛の声かけ運動をお願いPRチラシの配布をしました。都市化する生活環境の中で、地域の皆さんに、子供は社会の宝物であるという認識を持って頂くべく意識付けとして行ったものです。

PTAは学校の枠内だけに存するものではなく社会全体の中のPTAであるという考えから行なわれた活動でした。以上がわがPTAの現況です。

PTA活動のあり方や、母親としての役割等について研究を深め、PTA母親リーダーとしての資質の向上を目指す「第十三回県PTA母親リーダーセミナー」が今年度七県四方部で開催された。

《県北方部》 貴重な体験

平野小PTA 角田敏子

何もわからず参加した私は、「どんな研修会なんだろう。」と、不安な気持ちでいっぱいでした。

「バズセッション」という討議の方法を学習しながら、PTA活動の現状と課題、問題解決にむけての話し合いがなされました。グループごとに司会、記録の役割を分担し、実際にテーマを決め

て討議しました。セミナーに初めて参加した人が多く、最初のうちは譲りあつていましたが、役割が決まると、それぞれに一生懸命責任を果たしました。小グループに分かれての

討議だったので、活発な意見の交換ができました。今回のセミナーでは、会議の持ち方、すすめ方について研修をうけただけでなく、各学校のPTA役員のお母さんと、休憩時間や昼食時にまで、役員選出方法やPTAの

運営についてお話ができ、とても有意義でした。また、積極的にいろいろな事にチャレンジし、経験することの大切さを感じました。今回の研修の成果をこれからのPTA活動に役立てていきたいと思えます。

《県中南方部》

PTA活動における母親の役割

鏡石第一小PTA 樽川智鶴子

十月六日、母親リーダー

方等を学びました。

セミナーに参加し、母親役員の役割と会議の持ち方等を学びました。模擬バズセッションが始ま

母親セミナーに参加して

《会津方部》

出会いそしてふれあい

若松第二中PTA 新城智子

去る十月一日このセミナーに参加させて頂きましたことに、深く感謝致します。いつもこのよう

な研修に参加して思うことは、たくさんの人々が出会えてたくさんの方が学べることです。そして、今回も初対面であつたにもかかわらず、子を



(浜方部母親リーダーセミナー)

持つ親としての心は一つと実感しました。私たちのグループは、中学校からの親ばかりで、進学に際しての、悩み心配事等を、テーマ以外で話はずんでしまいました。(講師の先生ごめんなさい。)わが子の姿を正確に見、親と子の心の断絶

を招かぬように子供の話を傾け、わが子への指導・激励・助言することが大切ということになりました。

り、自己紹介後、各係が決まり私が司会をするこ

とになりました。●父親が役員だが時には母親も共に出席する。●児童数が少ないので、全員が役員になる。●父親が役員だが実際は母親が代わりに活動する。●協力がぜひ必要である、との話し合いがなされました。

《浜方部》

すばらしい仲間たち

浪江中PTA 森川 マツ子

家を出る時には知らない所に行くのはとても不安でした。ところが会場に入るなり、顔見知りの人達がいるのでとても安心しました。

セッション、そして全体会と進むのですが、その時に司会者・記録者を決めるのですが、最初は、「私できないわ」と言っても、いざとなると堂々と自分の役割りをきちんとやりこなすのですから、女性の度胸のよさを、これほど感じた一日はなかったと思います。

研修のテーマとして、「PTA活動の活性化を図るため、会議の持ち方や方法を理解し、運営と活動に果たす母親役員のあり方を深める。」とても深く深い議題であると思えます。今日のPTAの組織

の中での母親役員の役割りとは、リーダー的存在であると思われず。班ごとに別れてのバズ

今までも何気なく進めて来た会議も、順序よく進めて行けば、脱線することもなく、スムーズに進められるということです。残り少ないPTA活動に、今回学んだことを生かしていきたいと思います。

司会が不慣れな私でしたが、全員が活発に意見を出し有意義な話し合いがもたれ、大きな収穫があったと感じたのは、私だけではなかったと思えます。

残りわずかな子供の学校生活に合わせ、PTA活動で学んできた事の一つでも生かせるように、頑張っていきたいと思えます。

習字 最優秀 作品

第16回

子どもの災害事故防止 習字コンクール 入賞者決まる

にじ
たきざわさゆり (長倉小一年)

ゆめ
本郷真大 (平二小二年)

用心
安倍隆夫 (鏡石一小三年)

元気
鈴木麻里子 (茨川小四年)

第十六回子どもの災害事故防止習字・ポスターコンクールの審査は、二月四日と五日に福島県青少年会館で行われ、習字二〇五点、ポスター二〇点の入賞が決まった。今年、習字一六六校から二八五〇点、ポスターは五七校から四〇三点の応募があった。

習字は、蓬萊小学校教諭鈴木幸子氏、福島大学附属小学校講師桑原兵永氏、元野田小学校教諭小田雄氏が、ポスターは、元福島第四中学校長力丸毅氏が、一点一点慎重に審査した。各学年五年の学校代表作品のため、生き生きとした力強い作品が多かった。

▼ポスター▲

【小学校の部】

- ◆最優秀賞
 - やなとりしずか(明和小一年)
 - 真壁甲英(柏城小二年)
 - 渡部 誠(荒海小三年)
 - 縄野博司(岡山小四年)
 - 守谷ちひろ(岡山小五年)
 - 伊藤 匡(岡山小六年)
- ◆優秀賞
 - 星 加織(針生小一年)
 - 吉田亮之(柏城小二年)
 - 箱崎拓也(綴小三年)
 - (新浦香澄(岡山小四年)
 - 白鳥始子(長沼小五年)

◆優良賞

- 阿部雄介(岡山小六年)
- ほりかねさい(明和小一年)
- 横山ユキ(旭小二年)
- 秋山 望(千里小三年)
- 鈴木琢磨(岡山小四年)
- 佐藤広美(岡山小五年)
- 奥川良樹(長沼小六年)
- ◆佳作
 - 江尻奈津美(永崎小一年)
 - やまだかおる(相草野小一年)
 - 星 ひとみ(針生小一年)
 - 松本五月(浪江小二年)
 - 菊地大志(明和小二年)
 - 二瓶陽子(牧本小二年)
 - 渡部 亮(荒海小三年)
 - 飯塚 亮(郡富田小三年)

【中学校の部】

- ◆最優秀賞
 - 桜田理恵(若松二中二年)
- ◆優秀賞
 - 中川健作(若松二中一年)

ポスター最優秀作品

◆優良賞
丹野 恵(梁川中一年)

◆佳作
松七五三浩紀(相鹿島中二年)
遠藤まゆみ(若松二中一年)



やなとりしずか (明和小一年)



真壁甲英 (柏城小二年)



渡部 誠 (荒海小3年)

安全

杉原麗香 (附属小五年)

健康

印南春樹 (明和小六年)

発展

石川優里 (二本松一中一年)

躍進

八巻謡子 (原町一中二年)

躍進

徳江ひろみ (県北中三年)

習字

【小学校の部】

◆最優秀賞

たさむさゆり (長倉小一年)

本郷真大 (平二小二年)

安部隆夫 (鏡石一小三年)

鈴木麻里子 (笈川小四年)

杉原麗香 (附属小五年)

印南春樹 (明和小六年)

◆優秀賞

山田たくろう (平二小一年)

みぞちひろし (大東小一年)

たてさやか (附属小一年)

宮原直也 (い草野小二年)

ひしめまゆう介 (附属小二年)

相沢ひろみ (平二小三年)

栗原知香 (大戸小三年)

真田泰芳 (綴小三年)

佐藤俊一郎 (附属小三年)

菅野寿江 (桃見台小三年)

竹内桃子 (附属小四年)

鈴木香絵 (平二小四年)

下山田遼子 (泉小四年)

折笠渉太 (謹教小四年)

石川涼一 (立子山小四年)

遠藤尚子 (宮城小五年)

横山ちひろ (大野二小五年)

寿山英輝 (桃見台小五年)

根本健治 (竹貫田小五年)

松崎美幸 (永崎小五年)

田中貴章 (城北小六年)

天海美佳 (綴小六年)

小池裕絵 (河東小六年)

赤坂博史 (渡瀬小六年)

工藤敦子 (四倉小六年)

◆優良賞

にいつまりよう (永崎小一年)

かんげ はるな (城北小一年)

にいつま かない (草野小一年)

やすだ みき (小名根一小一年)

斎藤由佳 (謹教小二年)

はるやまけん (綴小二年)

市村めぐみ (鶴城小二年)

松本こう平 (泉小二年)

郡司 圭 (郷ヶ丘小三年)

内田多美 (泉小三年)

森 敬子 (城北小三年)

平子信吾 (小名瀬東小三年)

関根映理子 (大浦小三年)

佐藤寛子 (永崎小三年)

武藤優里 (神指小三年)

大高佐江子 (永崎小四年)

芳賀かおり (大戸小四年)

江川健一 (長倉小四年)

正木恵美 (鏡石一小四年)

長瀬裕美 (小名根二小四年)

郡司 覚 (桑野小四年)

下重 彩 (白河二小四年)

石井郁子 (須賀川小五年)

山田亜満 (平二小五年)

江尻昌弘 (い草野小五年)

土屋英子 (郡月輪小五年)

渡辺幸樹 (福月輪小五年)

大 中 陽 子 (鏡石一小五年)

金沢礼子 (瑞小五年)

草野裕子 (蓬萊東小六年)

高橋 泉 (宮小六年)

小林千晃 (鏡石一小六年)

酒井三佳 (南郷二小六年)

市川聖之 (西袋一小六年)

渡辺むつみ (掛田小六年)

【中学校の部】

◆最優秀賞

石川優里 (二本松一中二年)

八巻謡子 (原町一中二年)

徳江ひろみ (県北中三年)

石 直子 (石川中一年)

長谷川徳也 (梁川中二年)

三浦千里 (立子山中三年)

近藤淳子 (矢吹中一年)

相良光智子 (船引中二年)

上田恭子 (双・東中三年)

山本奈津子 (瑞中一年)

八矢あゆみ (湯本二中一年)

岡田恵美子 (原町一中一年)

五十嵐佐和 (県北中一年)

塩田由美 (小塩江中一年)

新妻美香 (久之浜中一年)

安田理江 (小名根一中一年)

野上里子 (北会津中一年)

伊藤紘美 (平三中一年)

市川泰之 (須賀川二中一年)

鮫島摩利子 (平二中二年)

村上仁美 (県北中二年)

水戸朱美 (矢吹中二年)

坂内小梢 (新鶴中二年)

喜多晃一 (石川中二年)

安濃嘉奈子 (平一中二年)

立花貴子 (北会津中三年)

斉藤 望 (川内中三年)



桜田理恵 (若松二中二年)



守谷ちひろ (岡山小五年)



伊藤 匡 (岡山小六年)



縄野博司 (岡山小四年)

県PTA安全互助会だより

前年度より児童生徒の賠償責任補償制度が新しく設定され、二月一日現在で、十九件の請求があった。その事例の一部を紹介する。

例一 学童が、団地周辺で石投げ遊び中、駐車中の自動車にあたり、フロントガラスを破損する。

例二 学童が、学校の校舎に駐車中の自動車に石で落書きをしキズをつける。

例三 学童が、自転車です手をおりる際、ハンドル操作を誤り駐車中の自動車にぶつかりキズをつける。

例四 学童が、校庭でゴルフの道具を使って遊び中、打ったボールが、子どもの頭に直撃する。

例五 自宅前でキャッチボール中、塀にぶつかったボールがはねかえり、隣家の玄関のガラス戸を破損する。

福島県PTA安全互助会地区別加入状況と事故状況

(H. 5. 2. 1 現在)

区分 地区	小・中 学 校 別						障 害 事 故 発 生		
	小 学 校		中 学 校		合 計		学 童	P T A	合 計
	単P数	加入率	単P数	加入率	単P数	加入率			
福 島	47(28)	100.0	20②	95.2	67	98.5	327(2)	19	346
達 南	12(5)	100.0	3	100.0	15	100.0	47	2	49
伊 達	30(15)	100.0	8	100.0	38	100.0	142	7	149
安 達	33(13)	100.0	11	91.7	44	97.8	221(1)	15	236
郡 山	57(5)	93.4	12	46.2	69	79.3	228(3)	47	275
岩 瀬	24(5)	100.0	10	76.9	34	91.9	123	1	124
石 川	26(7)	100.0	7	87.5	33	97.1	100	4	104
田 村	38(13)	100.0	15	100.0	53	100.0	139(1)	4	143
西白河	27(12)	100.0	14	100.0	41	100.0	164(1)	10	174
東白川	22(7)	100.0	4①	100.0	26	100.0	69(1)	3	72
若 松	18	100.0	8	88.9	26	96.3	106	8	114
北会津	16(10)	100.0	6	100.0	22	100.0	54	3	5
両 沼	18(9)	100.0	7	70.0	25	89.2	35	2	37
大 沼	10(2)	100.0	4	100.0	14	100.0	25	4	29
耶 麻	32(5)	100.0	11	78.6	43	93.4	82	6	88
南会津	19(2)	100.0	11	100.0	30	100.0	68	7	75
いわき	45(9)	63.3	19②	45.2	64	56.6	114(1)	11	125
双 葉	19(7)	100.0	11	100.0	30	100.0	121(3)	18	139
相 馬	32(20)	100.0	12①	92.3	44	97.8	152	11	163
合 計	525(174)	94.6	193⑥	79.4	718	90.0	2,317(13)	182	2,499

() は幼稚園数、○は養護学校 (福島・相馬・いわき)
 ・分校 (東白川・いわき)
 ・() は学童の死亡事故件数
 ・上記事故件数は、平成4年1月1日現在の事故発生件数である。

県小中学校新聞コンクール 入賞校決定!

おやまだ

(小山田小PTA)

郷ヶ丘

(郷ヶ丘小PTA)

PTA会報

(一箕中PTA)

○入 選

ひらの(平野小PTA)

なつなし

(針道小PTA)

お城山(三春小PTA)

かけはし

(安積二中PTA)

西陵(西袋一小PTA)

教育やぶき

(矢吹小PTA)

PTA会報

(原町一中PTA)

蘭金(河東三小PTA)

かわかぜ

(城西小PTA)

あゆみ(坂下小PTA)

◆学校新聞

○最優秀

向上 (松陽中)

○優 秀

六華タイムズ

(三河台小児童)

二つ箭の窓

(小川中通信)

○入 選

つばさ (須釜中一年)

棚中新聞 (棚倉中)
 三中全会報 (若松三中)

平成五年度
 行事予定

●県連P評議員会(総会)
 六月四日

●日P山形大会
 八月二十日・二十一日

●県P原町大会
 十月十五日・十六日

●東北P仙台大会
 十一月十二日・十三日

編集後記

▼「教育改革元年・第三の教育改革の年」といわれてスタートした今年度も残すところわずかとなりました。三月には、子ども達がそれぞれの学びやを巣立って行く。子ども達が、胸を張って学びやを巣立って行くために、PTAとして積極的な援助をしたかどうか。次年度の活力とするためにも、初心に戻り一年間を振り返りたいものである。……
 ▼こんな思いを込めて35号をお届けします。